

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.444 目次

- ◆日臨技災害派遣技師研修会に参加して… (2)
- ◆「New Yearパーティー 2019」に参加して…………… (2)
- ◆血液研究班 基礎講座に参加して…………… (4)
- ◆知多地区研修会に参加して…………… (5)
- ◆フレッシュセミナー 2019…………… (7)
- ◆講演会・研究会…………… (8)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信 (第58回)…………… (10)

日臨技報告

日臨技副会長 相山 広美 (愛臨技監事)

昨年は、診療報酬改定から始まり、12月の医療法等の一部を改正する法律の一部施行に伴う厚生労働省関係省令（平成30年厚生労働省令第93号）の施行、そして今年の4月には「働き方改革関連法」が施行されます。次年度以降労働環境の改善も進むことが期待されます。我々臨床検査技師においても、“働き方”のみならず役割分担等にも変化や影響が見込まれると思われます。日臨技では、このような社会情勢や医療情勢の変化に伴い臨床検査技師の業務のあり方等、多様なニーズに対応できる人材育成と業務体制の検討が急務となります。平成31年度も引き続き、会員一人一人と情報共有し、意識改革に努めます。平成30年度優先処理課題は、①「医療法等改正に伴う日臨技の対処方針を示した」⇒精度の確保に係る責任者の育成制度を開始（10月31日）、各種標準作業書・日誌等の作成支援をHPにて開始（10月18日）。②「卒前教育制度の見直し（案）の提示」⇒臨床検査技師教育への提言と見直し（案）を答申。③「病棟業務への参画と検体採取の推進」⇒臨床検査技師によるタスクシフティングを推進。④「日臨技と都道府県技師会の連携強化に向けた推進」⇒定款・諸規定の改定準備。⑤「認定制度の再構築」⇒認定医療技術部門管理責任者制度の創設。⑥「日臨技としての学術活動のあり方」⇒全国学会、支部学会、支部研修会の企画・運用について検討。⑦「検査部門へのAI導入を前提に今後の方向性」⇒臨床検査技師あり方推進WGにて、10年後、20年後の臨床検査技師が目指す方向等を検討。以上7つの重点課題に取り組んできました。平成31年1月26日に開催された全国幹事連絡会議では、平成31年度の事業計画案の概要を説明させていただきました。平成31年度も平成30年度の優先処理課題を継承し、また、各担当部署において多くの事業が進められます。その中で組織強化において、人材育成の継続事業である「地域ニューリーダー実践講習会」、卒後3～10年目の会員を対象とした「初級・職能開発講習会」を実施します。また、平成29年から始まったeラーニングを活用した自己学修支援システムでは、内容の充実を図っております。会員の皆様の自己学修にぜひご利用ください。

今後も都道府県技師会との連携を行い、また、会員との情報共有においては、日臨技ホームページより情報を発信してまいります。愛臨技の会員の皆様にも、今後とも日臨技の事業にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

日臨技災害派遣技師研修会に参加して

知多厚生病院 迫 欣二

12/14-15 東京大森の日臨技事務所3階会議室にて開催された日臨技としても初めての本研修会には各県技師会から推薦されたメンバーを中心に全国から54名の参加者が集まった。初日は災害医療に関する講義4演題、2日目は机上シミュレーション中心に現役DMAT隊員や、JMAT経験のあるファシリテーターとともに活発な机上シミュレーションが行われた。私自身、熊本地震での検査室業務支援時には何の知識もないまま現場に飛び込んでしまったが、災害医療に臨床検査技師が関わるに当たって、被災地では何が求められるのか、支援に際してどんな知識が必要なのか、など災害医療について多くの情報を知ることができた。今後予想される災害にむけた準備体制整備の必要性を強く感じた2日間であった。

「New Year パーティー 2019」に参加して

愛知医科大学病院 丹羽 玲子

1月18日（金）New year パーティ会場では、230人余り参加の盛大な宴も終盤になり賞品発表は会長賞に進んでいました。中根会長の「さあ、東京ディズニーリゾートペアパスポートです。ニジュウ…」とじらされる声が耳に入り、ニコニコされながら「20番台の方は前へ出て!」と促され、一括申し込みの愛知医科大学病院一行は前に進みました。そして「22番!」と会長のコール。今一度、自分の番号を確認。あっ私だ、ヤッター!。

ペアパスポートの目録と大きな看板を会長から手渡されました。ディズニーは息子が年長の時以来25年ぶりです。今年年長になる孫も一緒に行こう

と思っています。中根会長はじめ皆様、どうもありがとうございました。

当日は、県学会PRのため尾張東地区の実行委員と共に意気込んで乗り込んでいました。チャンスとばかりに受賞スピーチでもPRをさせていただきましたが、あらためてご案内します。

7月7日（日）七夕、サンプラザシーズンズ（藤が丘駅から徒歩10分）、第19回愛知県医学検査学会を開催します。楽しく興味深い学会となるよう様々な企画の準備を進めています。どうぞ皆様のご参加をお待ち申し上げます。



New Year パーティーに参加して

安城更生病院 高須 大輔

平成30年度愛臨技「New Yearパーティ 2019」は、国際センタービル25階「東天紅」にて226名の参加のもと開催されました。私はこのNew Yearパーティに初めて参加し名古屋の夜景の中、豪華な料理を堪能しましたので報告します。

New Yearパーティは中根会長のお言葉で大盛況のなかスタートしました。今回私は初めてパーティに参加させていただきましたが、他施設の会員や賛助会員の方など、様々な方たちと交流を深めることができ、私のような若手でも楽しむことができる会であると感じました。会のなかには各分野の研究班の方々のあいさつがあり、研究班ごとのカラーを知ることができました。

終盤にはくじ引きが開催され、なんと私は幸運にも副会長賞に当選し、和牛ギフトをいただきました。その他にもディズニーペアチケットなどの豪華景品が用意されており、抽選番号の発表には参加者全員が大盛り上がりで会を楽しんでいました。

今回、New Yearパーティに参加することで、他施設の方たちと親睦を深め、愛臨技の会員皆様の雰囲気を知ることができ、このような催しに私のような若手技師が参加する意義は大きいと感じました。来年度もぜひ会に参加させていただき、今回あまり交流を深めることができなかった同世代の技師とも交流を深めていきたいと思います。

New Year パーティー 2019 を開催して

組織部長 刑部 恵介

平成31年1月18日(金)、名古屋国際センタービル25階の“東天紅”にて“愛臨技NewYearパーティー 2019”が開催されました。今年度は平成最後のパーティーでもあり、多方面にわたって参加の呼びかけを行い、お陰様で会員112名、賛助会員114名、総勢226名と例年にない多数のご参加を頂く事ができました。高層階で周りの眺望の素晴らしい中で、立食の中華料理に舌鼓を打ちながら参加者の方々の会話も弾んで、非常に和気あいあいとした雰囲気でした。さらに学術部研究班員などに壇上に上がってもらい、ひとことご挨拶や今年の抱負を発表して頂き盛

り上がり、終盤の大抽選会では多くの方に楽しんでもいただけたと思います。また、今年は景品の当たらなかった方にもお土産もお渡しすることができ、参加された方々が笑顔で帰られる姿をみることができました。

現在、愛臨技の会員はどんどん増えつつあります。組織強化や互いの親睦を深める意味でのこういった催しが果たす役割は大きいと思います。今後も組織部として会員の皆さんに役立つような企画を開催していきます。是非、会員の皆さんのご参加をお願い申し上げます。



血液研究班 基礎講座に参加して

藤田医科大学病院 臨床検査部 林 和佳奈

平成31年1月20日に開催された血液研究班 基礎講座に参加させていただきました。

テーマは「骨髓像判読 WHO分類2017伝達講習」で午前中に講義、午後の実習という内容になっていました。

午前の講義では骨髓検査の流れ、骨髓所見のとり方、書き方などの基礎的内容から細胞の形態異常や骨髓所見の記入の際の注意点、WHO分類2017骨髓系腫瘍分類の変更点などの応用的内容まで講義して頂きました。骨髓像を判読したことのない私でも理解できる内容となっており、とても勉強になりました。

午後の実習ではグループごとに分かれて骨髓異形成症候群(MDS)5症例の骨髓像を判読しました。まず、自分で15分鏡検後、所見について解説していただき、分からない細胞を質問する時間もありました。午前中の講義で学んだ内容を実際に鏡検でき、より理解を深めることができました。

今回の研修会は基礎から応用まで学ぶことができ、これから日常業務で血液像や骨髓像を判読していくために必要な知識を得られました。今回学んだことを生かして練習に励み、質の高い検査結果の報告につなげたいと思います。今後もこのような自身のレベルアップにつながる研修会が開催される際には、ぜひ参加させていただきたいです。最後に、この基礎講座で講義してくださった先生方やスタッフの方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



知多地区研修会に参加して

公立西知多総合病院 服部 聡

1月26日に半田市医師会健康管理センターにて知多地区研修会が開催されました。

テーマは「採血業務における注意点」として採血業務の実際、採血で神経損傷を受けた経験談、採血に関する知識と注意点など、日常検査業務として当たり前のように行われていますが、あまりテーマとして扱われない採血の研修会とあって、参加者は82名にのぼり採血業務についての関心の高さを物語っていました。私自身も日常採血業務を行っていますが、VVR（迷走神経反射）という言葉は知っていても、詳細を理解しているわけではなく、発症した場合の対処法も知らなかったので、VVRについて学ぶいい機会となりました。

採血業務の実際では半田市立半田病院の採血業務の概要や日頃から工夫している点などを聞くことができ、採血を受けられる方への説明文章や採血困難者の前回の採血状況をリストとして残して情報共有を行っている点などがとても参考になりました。

神経損傷を受傷した体験談の講演では、神経損傷を受けた際の採血の詳細な状況から神経損傷時の痛みの感じ、時間経過に伴う痛み方の変化、その後の治療経過などを聞くことができ、神経損傷受傷時の気持ちや、その時にどう考えてどう行動したかなど患者の視点からも神経損傷を考えることができました。

実際に神経損傷を受傷すると、普段の採血とは違

った強くつねったような痛みで襲われるそうで、ここで重要なのは、患者として痛みをきちんと採血者に伝えてもらうことですが、待ち時間が長く採血者に余裕がない場合は、患者も遠慮して痛みの訴えないケースもあるため、採血者も常に心に余裕をもって採血業務を行うことで患者が痛みを訴えることができるような雰囲気を作ることが重要であると感じました。また、採血後に痛みを生じるケースもあるため、止血ブースを設けて止血後にもう一度患者の状態をチェックすることも大切であると感じました。

採血に関する知識と注意点では、安全な採血と止血、神経障害を回避するための知識、VVRについて、指先部採血時の正しい採血方法を学ぶことができました。

待ち時間を有効に使って副作用情報の提供や、血管が分かりづらいケースや、血管に入ったが血液が出てこない場合の対処法などのアドバイス、採血ができなかった場合の患者への対応方法など、採血者自身の身を守る方法を知ることができました。

また、神経損傷を回避するための知識として静脈血管と神経の走行を図で示したうえで、神経損傷予防のための血管選択の仕方や、直針と翼状針を比較して血管内での針先の位置関係を模式図で示し、翼状針では針先を寝かせることができる為、神経に到達しにくい点、また直針の場合、採血管を入れ替え



た際に針先が動いてしまい神経を損傷してしまうリスクを伴いますが、翼状針の場合はそれが極めて少ないなど神経損傷の起こしにくい翼状針使用の有用性を学ぶことができました。当院でも患者が痛みを訴えるケースがあった為、中央採血室の採血では全症例翼状針にて採血を行うようになり、1年が経過しましたが患者が痛みを訴えるケースは減少しました。

VVRの知識として、迷走神経反射の概要、発生のタイミングと発生時の症状、VVR発症時に備えて必要なこと、患者観察からVVRを疑ったときの声掛けの仕方と重要性、末梢神経障害の兆候、発生時の対処法や、発生時にその経過を正確に記録することの重要性、対応を誤ると多額の賠償金が発生することを過去の判例で提示していただきました。

指先部採血時の正しい採血方法では、押し出し法、揉み出し法、絞り出し法の各方法においての検査値の変動や穿刺時の指先部の消毒方法の違いによる検査値への影響について検証実験を示しながら説明していただきました。

押し出し法は、他の2法と比較して組織液の混入が少なく、安定した検査結果を出せるという事実をはじめて知り驚きました。

研修会を通じて、採血行為は患者から裁判を起こされる場合があることを頭の片隅において業務にの



ぞむ必要があることを実感しました。そのためには、患者に誤解を与えないような言葉を選ぶこと、採血では患者の観察と声掛けの重要性を痛感しました。患者によっては痛みを我慢してしまう場合も考えられるため、採血者が患者の微妙な変化に気づき、適切な声掛けをしなければならないこと、また発症した場合は、発症からの経過を逐一記録することが患者を守ると同時に採血者自身を救うことにつながります。また、VVRの発症時に慌てない為に対処方法の訓練を行うことで、発症時に備えておく必要性を感じました。

今回学んだことを意識して採血業務を行っていきたいと思います。



フレッシュセミナー 2019

【基礎教科：20点】

日 時：2019年4月21日(日) 9:30～(受付開始)

場 所：アーバンネット名古屋ビル20階 シスメックスリップルスクエア

アクセス：久屋大通駅 出口3B直結 電話 052-775-8101

会 費：無料

対 象：新入職者(若手・引率技師含む) 100名(定員になり次第締め切り)

服 装：軽運動ができる服装

内 容：①臨床検査技師会の紹介(愛臨技・日臨技) 50分 技師会役員

②社会で求められる「コミュニケーション」について50分

寺本美乃里(キャリアエール株式会社)

③リフレッシュ・フィットネス(身) 50分 草野 茂(フィットネスIR)

④意見交換会(軽食・コーヒー) フリートーク

申し込み：日臨技会員未登録及び申請中での参加も可能です。下記申し込み用紙にて愛臨技事務所までFAXでお送りください。

締め切り：2019年4月15日(月)(定員になり次第締め切り)

問合せ先：藤田医科大学 刑部 恵介 0562-93-9430

公益財団法人愛知県臨床検査技師会 宛
FAX番号 (052) 586-5680 aamt@aichi-amt.or.jp
【フレッシュセミナー 2019 申込書】

	施設名：	申込責任者：	TEL： FAX：
No	会員番号(登録者のみ)	参加者名	
1			
2			
3			
4			
5			

講演会

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年4月6日(土) 15:30～17:00

場所：社会医療法人財団新和会八千代病院
2階 大会議室

テーマ：不妊症看護認定看護師

講師：1. 「不妊症認定看護師の役割」

トヨタ記念病院 看護科

吉川 典子

2. 「不妊症認定看護師が胚培養士に求める事」

八千代病院 看護部 高須 初恵

司会：小牧市民病院

藤田 京子

内容：愛知県でも数名しかいない不妊症看護認定看護師としてご活躍されている方にご講演いただきます。普段裏方になることが多い検査技師に何が求められているかを考えるよい機会です。

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年4月6日(土) 15:30～18:00

場所：リップルスクエア
アーバンネット名古屋ビル20F
久屋大通駅5A出口より徒歩1分

テーマ：基礎から学び直すグラム染色
－臨床貢献につなげるために－

講演 1：グラム染色の基本

－原理と材料別処理について－

一宮市立市民病院 木村 達也

講演 2：グラム染色の実際

－鏡検のポイントとピットフォール－

JA愛知厚生連豊田厚生病院

永田 悠起

講演 3：グラム染色の精度管理

－ISO15189取得施設からの報告－

愛知医科大学病院 宮崎 成美

講演 4：グラム染色ケースカンファレンス

－臨床貢献するためにはどうするか？－

小牧市民病院 西尾美津留

司会：JA愛知厚生連江南厚生病院

河内 誠

内容：グラム染色は簡便な手技である一方、結果の解釈には熟練を要する非常に奥が深い検査手法です。

今回、グラム染色を基礎から学ぶと共に、精度管理への対応、臨床貢献するために臨床検査技師に何が出来るかについて取り上げたいと思います。

研究会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年4月6日(土) 15:00～17:00

場所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
名古屋市中区丸の内3-8-5

テーマ：集まれ、鉄ちゃんファミリー！

講師：1. 鉄の摂取～体内動態について

豊橋市民病院 森下 拓磨

2. 鉄の体内動態～疾患について

藤田医科大学病院 西垣 亮

3. 鉄の測定について

株式会社シノテスト R&Dセンター

飯塚 直美

司会：JA愛知厚生連 江南厚生病院

林 克彦

JA愛知厚生連 江南厚生病院

伊藤 智恵

内容：普段測定している鉄について、その摂取から体内動態、疾患、測定系までをまとめて勉強できる内容です。Fe、UIBC、TIBC、フェリチンについて再度勉強してみたい方、集まれ、鉄ちゃんファミリー！多数の参加をお待ちしております。



研 究 会

血液検査研究班

専門教科：20点

日 時：2019年4月20日(土) 15:00～17:00

場 所：リップルスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

(久屋大通駅より徒歩1分)

テ ー マ：症例検討会(血小板編)

講 師：名古屋第二赤十字病院 白木 涼

JA愛知厚生連豊田厚生病院 酒巻 尚子

地域医療機能推進機構中京病院

楠木 啓史

JA愛知厚生連豊田厚生病院 藤上 卓馬

司 会：JA愛知厚生連江南厚生病院 川崎 達也

内 容：参加型の症例検討会を実施します。今年度は血小板をテーマに症例を提示させていただきます。皆さんと一緒に考えながら血小板について学び、日々の検査に役立てる研究会にしたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。

2019年2月12日現在 正会員数 3,328名

研 究 会

生理検査研究班

専門教科：20点

日 時：2019年4月20日(土) 15:00～17:00

場 所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール

テ ー マ：生理検査を円滑に行うために

講 師：1. チーム医療推進のための「チーム STEEPS」

公立陶生病院 医療安全管理室

医療安全管理者 伊藤 智弘

2. 呼吸機能検査症例報告

～医師に連絡を必要とした症例～

藤田医科大学病院 関根 秀治

司 会：赤羽乳腺クリニック 山口 温子

チームステップス (Team STEEPS) とは、米国の医療研究・品質調査機構が開発した「医療の質や安全、効率を向上させるためのチームワークの形や方法」のことです。現在、医療安全対策の一つとして多くの病院で取り入れられています。異常値のため結果を早急に報告したい場合、検査室で患者が症状を訴えた場合など、どう報告すれば正確にわかりやすく伝えることができるのでしょうか。チームステップスの方法を学び、明日からの検査に役立てましょう。

お詫びと訂正

2月16日(土)開催の病理細胞検査研究班講演会「平成30年度愛臨技精度管理事業、泌尿器細胞診について」にて受付PCの不具合により参加登録が出来ませんでした。

改めて参加登録が必要となりますので、参加された方は3月15日(金)までに下記のアドレスに名前、会員番号、施設名をご連絡下さい。

お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。

メール；byori20190216@gmail.com

小牧市民病院 藤田 智洋



